

# 新友会政策モニター研修会開催 平成27年12月5日(土) ホテルメトロポリタン長野にて

## 口演「刈萱山西光寺の絵解き」



「開祖刈萱上人と石重丸の親子愛を唄」

西光寺の由来である二幅の「刈萱道心石童丸御親子御絵伝」と、六幅の「地獄絵」等の絵巻を会場に展示。竹澤環江氏の抑揚のある語りと明瞭な解説で絵解き口演が行われました。

### ◆西光寺の「絵解き」について

長野市の善光寺表参道に位置する刈萱山西光寺は江戸時代より「絵解きの寺」として親しまれ、善光寺と共に賑わうお寺である。西光寺の「絵解き」は、明治の中頃まで盛んに行われており、一時途絶えるが、住職夫人により復活して40年が経つ。竹澤環江氏は住職夫人の指南を受け、平成19年より絵解き活動を始めている。「絵解き」とは、寺社に伝わる掛け軸等を「お羽根指し」という指し棒を使い、絵を指し示しながら解説・説明し、語ること。字の読める人が少なかった時代の視聴覚説教(目で見て耳で聞くことで物事を考えたり、知識を得たりする)であり、娯楽という楽しみの一つでもあった。その流れが「紙芝居」である。



講師：刈萱山西光寺 副住職寺庭 竹澤 環江氏

### プロフィール

1963年(昭和38年)長野市生まれ。刈萱山西光寺副住職のもとに嫁ぎ寺庭となる。平成19年より、寺宝「刈萱道心石童丸御親子御絵伝」や「地獄絵」の絵解きや紙芝居の口演活動を始め。平成27年10月、フランス・パリに赴き、絵解き口演を披露している。

◆竹澤講師の話方がとてもはっきりとして伝わりやすく、また内容も面白おかしく楽しめました。また、本堂に出向きたい。

◆絵解きの口演は初めて聞いた。こんなすばらしいものがあつたとは知らず、恥かしい。長野市の伝統文化としてもっとPRしていきたい。  
◆とても解りやすく、もっと若い人達にも刈萱さんのお話をしあける機会を与えてほしい。  
◆「絵解き寺」をPRして観光名所につながる事ができたら良いなと思います。竹澤さんの語りは見事でした。



### 絵解き口演の感想

## 新友会政策モニター研修会懇談会

新友会政策モニター制度は、日頃から恒常的に市民の皆様の見解を伺うための制度で、現在全市から108名の政策モニターの皆様によって市政に対する要望や意見などをいただいております。新友会では市政への要望書として提出し、市政に反映されるよう努力しております。絵解き口演終了後、各テーブルごとにモニターの皆様と新友会議員により、市政・市議会・新友会に対するご意見・ご要望・ご提案をいただきました。

主なものにつきましてご紹介いたします。

### 投票率の低下について

- 18歳まで選挙権が拡大されるにあたって、学校・家庭における啓蒙活動を行うとともに、各年齢ごとの投票率の発表や市議会傍聴を行ってはどうか。
- 投票所に段差があるなど、お年寄りに対する配慮が不足している。

### 住民自治協議会について

- 区長に出されていた市長からの委嘱状がなくなった。見直ししたほうがよいのでは。
- 住民自治協議会と支所の連携が大事。支所長や補佐は2〜3年職を握ってやっていたきたい。
- 地域における老人福祉について、住民自治協議会で担うことになるが、規模も実情も異なるのでスムーズには行かない。個人情報保護法もあり、誰が困っているのかもわからない状況になっている。
- 女性を登用する方を教えてほしい。女性を出しやすくするには家族の理解が必要。
- 都市内分権を推進しているが、各種団体の統合は問題がある。「やらされた」との意識もある。支所の強化が必要。

### 地域振興について

- 戸外地区について、道路や駐車場の整備が必要でせつかくの財産が生かされていない。
- 松原にお店がない。移動販売をして欲しい。若い人に住めと言っても無理。過疎地にもお金をかけて欲しい。
- 長野にも良い中小企業がある。信大は産学連携に協力的なので、連携をもっと図るべき。また、市のホームページ「おしごとなかの」の充実も期待する。

### 中山間地域について

- 支所長には地元の状態を知っている人を握るとともに、予算の執行権限などもっと考えて欲しい。
- 合併前は、子どもたちの活動でも役割のマイクロバスが使えたが、今は使えない。
- 中心地と違い、中山間地域の現状、実情に添った対応をして欲しい。
- 高齢化社会が思っていた以上に急速に進展している。老々介護の世帯が増え、子どもや若者たちは都市部(都会も含む)に行ってしまう。帰って来たくても就職が仕事がない。

### 少子化問題・子育て支援について

- 下条村の子育て支援政策は若者の定住対策として有効であり長野市でも同様な施策を行うことを望む。
- 子育て支援政策に関する、国の動き及び市の動きが遅いと感じる。他市の事例であっても良い事は積極的に導入する姿勢が必要である。

### 保健福祉と医療について

- 障がい児の子育てをしている。就学年齢になるが、受け入れ等に不安が冷たい。弱者の声が届かない。
- 各市区で運行している福祉自動車について、最初は市の支援で購入できるが、数年後の買い替えの時は毎年の積み立てで対応しなければならない。バザーなどで資金集めをしているが、思うようにならない。市で何とかできないのか。
- 子どもが急病のときに、救急車の使用をしないで、緊急病院に行く、診察までに長時間待たされた、十分な手当をしてもらえなかった。市は、医療機関にその対応や役割を徹底して欲しい。

### 道路整備と防災対策について

- 地域の主要な道路においても、危険な箇所がある。早期に点検し整備して欲しい。
- 中小河川に対する水害対策を急いで頂きたい。

### 中心市街地の活性化対策について

- 長野市中心市街地の象徴である権堂商店街については、かつての賑わいを取り戻すことは難しいと感じている。今後、中心市街地の活性化を図るには、交通網の再整備に併せて周辺遊歩等の活用により、周辺地域の皆さんが安心して買い物や観光の出来る環境を整える必要がある。
- 中心市街地の再開発については、様々な検討が行われていると思うが市街化区域全体を俯瞰したランドデザインが必要であると感じる。このランドデザインを検討するにあたっては、従来の人選にとらわれない多様な者による検討が必要であると感じる。特に若い世代の皆さんの意見を参考にすることは必要であるではないか。

### 善光寺周辺整備と観光について

- 善光寺は現在横からお客が入っているが、バスを降りて正面から入ることが大切。
- 御開帳は車の渋滞対策が必要。丹波島橋から一時間半かかるなどどのように時間がかければ次回への影響がある。
- えびす講火は全国でもトップクラスと聞く。長野らしさとしてもっと観光に結びつけるべき。
- 御開帳時、様々なイベントが行われたが、そのだけでなく、祇園祭などの他のイベントも含めて常に盛り上げられているような取り組みが出来ないか。来年6月5日に行われる全国植樹祭なども良い機会だ。

### 空き家対策について

- 相ノ木地区等の空き家対策の推進を望む。若い人が都市へ行き、残った年寄りが亡くなると家を取り壊し、駐車場になるのだ。
- 学校の空き部屋を使った高齢者施設、デイサービス等に使用するなど複合的に使用できないか。

### 駅周辺整備について

- 長野駅に一時的に駐車するスペースがなく利用しづらい。
- 新幹線の延伸により、長野駅は観光面でのアクセス拠点として一層の整備が必要。長野市内の観光資源が十分に活用されているとは言えない。
- 駅周辺整備に続く七瀬都市計画道路の整備を早く行うべき。新庁舎、市民芸術館へのアプローチを考え、JR踏切改良を含め駅東口からのアクセス道路も早く整備すべき。

### 農業について

- 耕作放棄地の利活用の提案や中山間地域のみならず里山の荒廃地利用を促進してほしい。新農地法の法的な内容、中山間地機構の検証をしてほしい。
- 農業の担い手に対する支援策を充実させてもらいたい。認定農業者として農業に従事しているが、現在のみでは生活が出来ないと感じており、行政の支援を期待したい。
- 近年後継者のいない農家では、農地の荒廃が目立っており、荒廃農地対策の観点から有効活用の出来る行政的指導が必要と感じる。収穫直前に被害に遭うため、農業の継続にも影響を与えている。野生鳥獣対策を強化していただきたい。

### 市政・市議会・新友会に対するご意見・ご要望について

- 1支所1事業は、支所の活性化のためにも重要な事業だ。充実を期待する。
- 市議会の傍聴が出来ない事をもっと告知して、議員の活動内容を多くの市民にアピールしてほしい。
- モニター研修会で提案や要望を事前に考えて発言したいが、予算編成に対する要望書を事前に提示できないか。開かれた市議会として、少なくとも新友会の各議員の日頃の活動を知らなければならない取組はできないか。

平成27年 11月24日(土) ホテルメトロポリタン長野にて

## 長野市農政懇談会を開催致しました。

新友会では、TPP交渉の大筋合意や農業・農協改革など、農業を取り巻く情勢が非常に厳しい中、長野市農業協同組合協議会、長野市農業委員会、長野市及び長野市農業公社と、「TPPをめぐる情勢及び今後の取り組み」について学習会を行うとともに、重点的に取り組んでいる事業や、農林事業並びに予算に関する要望事項について意見交換し、今後、関係機関が連携して農業振興を図っていくことを確認しました。また、懇談会の席上、農協協議会長とグリーン長野、ながの両農協組合長の連名による「TPPから『食』と『いのち』と『くらし』を守る要請」が、竹内農協協議会長から長野市議会経済振興議員連盟の岡田会長へ提出されました。



### 営農指導重点方針

◆多様な担い手が意欲を持って取り組める持続可能な農業の実現

- 地域農業の多様な担い手に対応した生産振興対策の強化
  - ①JA農業開発事業の充実
    - ・新規就農者支援に関する事業強化
    - ・施設化、新作型、新品目の導入に向けた事業強化
  - ②行政施策と連携した担い手の確保と育成支援
  - ③JA子会社農業経営部による耕作放棄地対策(玉ねぎ栽培など)
- グリーン長野ブランドの確立と販売営業力の強化
  - ①重点市場を集約し、総合販売力の強化と品目別重点販売による生産者の手取りの確保
  - ②トップセールスを始めとする消費宣伝活動の強化
  - ③A・コープファーマーズ南長野店を総合販売拠点としマーケティングに基づく商品企画の提案とパッケージなど対応力の強化及び販売高の拡大
- 流通センター機能の強化と再編整備の促進
  - ①品目(品種)の集約選果の実施と多様な販売形態に合わせた荷造りなど、付加価値を高めた商品企画と流通経費の削減
  - ②流通センター再編整備を検討し、センターの計画的な整備と将来に向けた新たな生産販売体制の構築



「ぶどう・シャインマスカット」

### 重点事業の実施状況

◆農業委員会組織・制度改革への対応(農業委員会法の改正)

- 農業委員の選出方法は、選挙制度が廃止され、地域の推薦や公選により市議会の同意を得て市長が任命する制度に変更
- 農業委員とは別に、各地域において農地利用の最適化を推進する「農地利用最適化推進委員」を新設するなど(本市は現委員の任期満了後の平成29年3月2日から適用) →市農業委員会としての方向性や今後の対応策について研究・検討中

◆市長へ「建議書」を提出(9月2日)

- 地域内の農業及び農業者に関する農業施策の確立に向けて建議(主な建議項目)
  - ①農業の担い手育成対策(若手就農者、定年帰農者・リターン等移住者、女性農業者等への支援)
  - ②学校給食への地産地消の拡充と食育教育の推進
  - ③中山間地域活性化対策 ④野生鳥獣対策 など
- 利用状況調査結果の台帳反映及び農地地図データの精度向上による農地情報の提供 →平成27年4月から「全国農地ナビ」で農地台帳及び農地地図をインターネット上で公表している



「小山会長から加藤市長へ建議書提出」

### 営農指導重点方針

◆担い手と地域に頼りにされる指導販売の確立と生産者手取りの確保

- 営農センター別中期振興計画の策定と実施に向けた農業企画の強化
  - ①新たな産地化を目標とした振興計画の見直し
  - ②品目別所得向上策の取り組み
    - ・品目別講習会の開催、特報作成配布
    - ・スマートフレッシュの有効活用
    - ・りんご高密度栽培の技術確立
    - ・梅わさびの産再試験と普及推進
    - ・小菊の作付拡大
- JA出資法人「ながの農花(株)」の事業開始
  - ①経営の実践と研修制度の構築
  - ②園地を利用した農業経営
  - ③モデル栽培誌(小菊)
- 担い手への営農支援の強化
- 消費者に信頼される安全・安心生産体制の充実強化
- 販売力の強化と生産者手取りの向上



「ながの農花(株)の小菊栽培」

平成28年度長野市農林事業並びに予算に関する要望事項 長野市農業協同組合協議会

### ◆担い手育成に関する事項

- ①農業機械化補助事業の認定農業者に対する補助率、限度額の引き上げ
- ②新規就農者支援事業の農家子弟向け助成金額の増額
- 生産振興に関する事項
  - ①新品目、新品種の導入に関する助成
  - ②ぶどう雨よけ栽培施設、簡易雨よけ施設設置に関する助成
  - ③市農業公社「お手伝いさん事業」の充実強化
- 流通販売に関する事項
  - ①シナノゴールド・シャインマスカットなど長期販売用冷蔵施設設置に関する助成
  - ②りんご収穫用コンテナのハーフ箱更新に関する助成
  - ③果実選果機更新に関する助成
- 有害鳥獣対策に関する事項
  - ①侵入防護柵の維持管理に関する助成
  - ②電気柵等設置助成枠の拡充
- 遊休農地対策に関する事項
  - ①空家対策と農地/林業事業を組み合わせた中山間地域活性化事業
  - ②JAながの、JAグリーン長野の農業法人への支援強化



## 新友会政策モニターアンケート 研修会に出席されるモニターの皆様にも事前アンケートをお願いしました。(出席モニター 91名 / アンケート回収 85名)

懇談会でいただくご意見を含め、政策になかなか反映されないのご意見もいただいておりますが、市当局に対する私たちが会派の政策提言に役立てさせていただきますのでご了承ください。紙面の関係から、その一部をご紹介します。

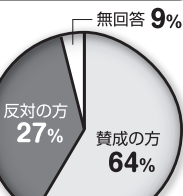
今回の市議会議員選挙の投票率は前回より4.23%下回る42.09%でした。この結果を皆様ほどのようなことを想定されるでしょうか。  
(「市政・政治に対する無関心」、「投票に魅力・意義を感じていない」、「若年層の投票率の低下」等のご指摘を多く受けましたが、それらのご提案・ご要望については、以下のとおり。)

- 市民と議員との接点・対話が必要
  - ※地域ごとの交流会、議会・懇談会等定期的出席し市民との対話を進める。
- 議会がより身近に感じられるような情報発信が必要
  - ※地域別の市政報告会・公開討論会の開催を希望する。
  - ※市民が議事を傍聴できることを周知する。
- 18歳以上に選挙権が与えられることについて
  - ※ツイッター・ネット等で政治への参加を促す。
  - ※各地区、学校・家庭においての啓蒙活動が必要。
- その他要望
  - ※市内のご投票場でも投票ができた、インターネット投票ができるよう要望する。(マイナンバーを使用)
  - ※高齢化が進み投票所までの交通手段の確保が必要。



隣接する須坂市において長野市では抑制している大型商業施設の計画がされています。本市小売業への影響も予想されますが、その良否とお考えをお聞かせください。

- 賛成の方のご意見
  - ※消費者の選択肢が増える。既存店の営業努力を促すことにもつながる。相乗効果を期待する。
  - ※時代のながれでしかたがない。小売業への影響はあるが、高齢化に伴い地域の小売業者が大切な存在になっている。市としても指導・支援が必要。
  - ※若い人の定住等考えなくては必要。大型商業施設・小売業共に、強み弱みがあるので、それぞれに強みを生かすことで共存できると思う。
- 反対の方のご意見
  - ※大型商業施設ができることにより、中心市街地が空洞化してしまうので反対。せつかく新・長野駅前へ買い物足を運んできた流れが委縮してしまい、市にとってはいいことが無いと思う。
  - ※高齢化社会が進み買い物ができる人が減少する。身近な小売業者が廃業するような施設をつくるべきでない。
- その他のご意見
  - ※消費者としては歓迎したいが、小売業への影響があり、中心地がますます淋しくなってしまうのは、地元民として困る。小売店でもその店にしかない物があれば絶対買いにいくと思う。



日本一の門前町大緑日と銘打った善光寺御開帳が開催され、新幹線の金沢への延伸効果もあり、参拝客数が過去最高となりました。様々なイベントがセントラルスクエアを中心に行われましたが、感想を含めた皆様のご意見をお聞かせください。

- セントラルスクエア等イベントについて
  - ※今後も数多くのイベントを計画して若い人から高齢の人まで善光寺に足を運んで貰えると長野市の経済効果も上がると思う。新しい芸術館をフルに活用するとかスポーツのイベント等も考えられる。
  - ※御開帳に限らず恒常的にイベントを開催し、観光客を増加を目指す。
- 善光寺周辺について
  - ※善光寺のライドアップなどにきやかく、たくさんの方が楽しんでた。一方で商店街が閉ちれていて買い物(お土産)しにくくてできないという声も聞いた。大勢の方々と商店街がうまく立てられればよいと思う。
- 今後のありかたについて
  - ※タイミング的に開帳と新幹線の延伸が重なった感がある。問題は1年に一度のイベントではなく、恒常的なイベントの計画が必要。28年の真田丸の放映中に新たに計画の策定を。
  - ※善光寺開帳と新幹線延伸が重なり、時間の利便性もあり参拝客が過去最高となったことは、善光寺＝長野市としてのイメージアップにつながるが、今後長野市の魅力も善光寺だけでなくほかの魅力も引き出してほしい。

新幹線の金沢延伸により長野駅は通過駅として埋没するのでは心配されましたが、想定を上回る乗降客数となっています。今後とも利用客の利便性を考え長野市として出来ることは何か、また延伸後の新幹線の利用の有無をお聞かせください。

- 各種観光企画を立案
  - ※善光寺以外に立ち寄りたくなるものが必要。たとえば、リピーターの確保。
  - 長野訪問バス等。
  - ※来年から始まる「真田丸」を大いに利用する。長野駅に降りたら上田・松代めぐりなど定期的に回る観光バスの運行。(東京の八丁バス観光的な)など。
  - ※新幹線乗車中の広告、首都圏金沢、富山等の駅での宣伝、また、長野駅から観光地へのわかりやすいアクセス案内広告をする。
- 開帳規模をでなく新幹線延伸を利用した魅力ある街づくりのネットワーク作り(B級グルメを含め)。
- 善光寺を中心とした戸隠・松代・川中島・小布施・豊野等の観光バス案内作り。
- 長野市を起点とした近隣市町村も含む観光案内の充実、体験型イベントで長野に来てもらう。

●公共交通の充実について

- ※長野駅から市内各地へいく公共交通機関(新交通システム)の整備。善光寺以外にも各地に歴史・産業等の観光資源がたくさんあるのでそれを利用すべき。システムの向上により利便性が高まる。

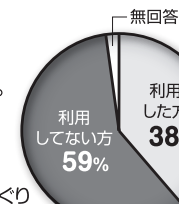
●スポーツ大会等の開催

- ※市内にはスポーツイベントに適した環境・施設が多いため、全国大会・国際大会イベントの開催。

●おもてなしの受け入れ態勢

- ※おもてなしの心を忘れず、リピーター・ファンを増やすことが重要。一部厳しい意見が聞かれるが商店に任せるばかりでは改善していかない。

- その他
- ※金沢地域内には観光資源が豊富にあり、周辺地域との連携選択地と重なっている。長野地域にも歴史文化資源を連携する施策が必要。



モニターの皆様からの多くのご意見をいただきました。これからの活動の参考にさせていただきます。ありがとうございました。